

一、日時 平成二十七年〇月〇〇日(〇) 1時限

二、場所 一年〇組教室

三、学年・組 一年〇組

四、単元名 志賀直哉 『清兵衛と瓢箪』

五、単元目標

- ・ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。(関心・意欲・態度)
- ・ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。(読む能力)
- ・ 文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。(知識・理解)

六、教材観

本教材は、大正時代に書かれたものではあるが、清兵衛の瓢箪に夢中になる様子は、何かの対象に純粹に熱中するという高校生の特徴でもあり、清兵衛になんらかのかたちで自分の姿を見る生徒は多い。

また、父や教師などの大人と子どもの対立問題も、生徒の心の中に深く訴えてくると思われる。大人はそれぞれの価値観を持ち、その観点から子供を見ていくが、子どもが一人の人間として別の価値観を持ち始めたときに起きる対立は普遍的なものであり、大人と子どもとの確執は、生徒が直面しやすい問題でもある。それぞれの登場人物の行動や考えを、物語の進行に即して読み取っていく。

七、生徒観

〈省略〉

八、指導観

「清兵衛と瓢箪」における親と子の確執等について、生徒自身が生活経験や実感にもとづいて考える。子どもが熱中していることの中に、その子どもの可能性が潜んでいるということは、清兵衛に瓢箪の価値を見抜く目があったことや、自分の手で仕上げていく技術を持っていたことから読み取れる。しかし大人はどうしても、自分の生きる現実や世の中の価値観から子どもを見てしまいがちである。ただし、大工職人として生きる父親から見る芸術家という仕事の危うさや、清兵衛の将来を不安に思う気持ち、また教員も当時の社会状況の中で「修身」という授業を受け持っていたという事実も押さえておかねばならない。

九、単元の評価規準

- ・ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとしている。(関心・意欲・態度)
- ・ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。(読む能力)
- ・ 文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。(知識・理解)

十、単元計画(全七時)

- 第一時 全文を通読。初読の感想。序章における小説の枠組みの提示。
- 第二時 第一段落、清兵衛の瓢箪への凝りよう。
- 第三時 第二段落、清兵衛の人物像、瓢箪観。
- 第四時 第二段落、大人たち(父親・客)の人物像。第三段落、すばらしい瓢箪との出会い。
- 第五時 第三段落、教員、母親の人物像。
- 第六時 第三段落、父親の行動。第四段落、瓢箪の行方について。終章。
- 第七時(本時) グループワークをもとに、父親のあり方に迫る。

十一、本時の展開

(1) 本時の目標

・一連の父親の在り方について根拠を持って自分の考えを持ち、グループワークにより理解を深め、文章にまとめる。

(2) 本時の評価規準と評価方法

・父親に関する記述を本文中から探し、グループメンバーと意見を交流しようとしている。(関心・意欲・態度)

：評価方法…行動の観察

・根拠となる文章記述を示して、父親のあり方についての自分の考えをまとめることができる。(読む能力)

：評価方法…記述の点検

(3) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を説明する。 ・本時の目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一連の父親のあり方について、簡単に振り返る。 ・本時の目標を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父親が登場した場面を思い返し、行動について整理できているか。(関心・意欲・態度)【行動の観察】
展開 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート①を行う。 父親についての記述を本文中より探し、自分が思いついたことをメモする 	<ul style="list-style-type: none"> ・父親のあり方(態度、考え方)について、自分の考えをまとめる。 ・書くことが難しい生徒には個別で対応する。 ・状況に応じて、全体に声かけをする ・5〜6人グループを作るよう指示する。 ・グループ内で意見を交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で積極的に自分の意見を発表できているか。(関心・意欲・態度)【行動の観察】 ・他の人の意見を聞いて、必要なメモを取れているか。(関心・意欲・態度)【記述の点検】
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート②を行う。 グループで意見交換を行う。 グループ内の他の人の意見を聞いて、必要なことをメモする 時間が余れば父親の性格について話し合う ワークシート③を行う。 他の人の意見をふまえて、自分なりの考えを文章にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート①②を整理し、自分の考えをまとめる。 指定された字数でまとめることは初めてなので、状況に応じて全体に声かけをする。(父親に関する「本文中の記述」を抜き出し、それについてどう思うかという書き方を基本とする。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の人の意見をふまえて、自分の考えを本文の記述を示しながらまとめているか。(関心・意欲・態度)【行動の観察】
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・完成したワークシートをいくつか紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間内に書けなかった生徒のシートも、一旦回収する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を持って、父親のあり方について自分の考えを述べているか。(読む能力)【記述の点検】

